



権現山山頂から油木の街並み 7月10日撮影



柏床よしおの
よっしー通信

2021年7月 3号

発行 柏床由夫後援会
 神石高原町油木乙23番地2 Tel.(0847-82-2022)
<http://ww4.tiki.ne.jp/~kashiwatoko/>
 Email kashiwatoko@mx4.tiki.ne.jp

【6月定例会】

一般会計 2億5056万円を補正
豊松支所改修費・コロナ対策事業など

6月定例会は、6月15日から23日まで開かれ、総額で3億964万円の補正予算や、若者定住応援基金条例の制定、条例改正など25議案が原案どおり可決。一般質問は8人の議員が行いました。

豊松支所改修費9499万円
「小さな拠点」周辺公共施設の機能を集約

豊松支所の空きスペースを改修し、周辺公共施設の機能を豊松支所内に移転させ、施設の有効利用、公益機能の再編・集約化（ワンストップサービス化）を実現し、「小さな拠点」の形成を図るため予算化されました。工事の完了は来年の2月末、共用開始は来年4月からの予定です。

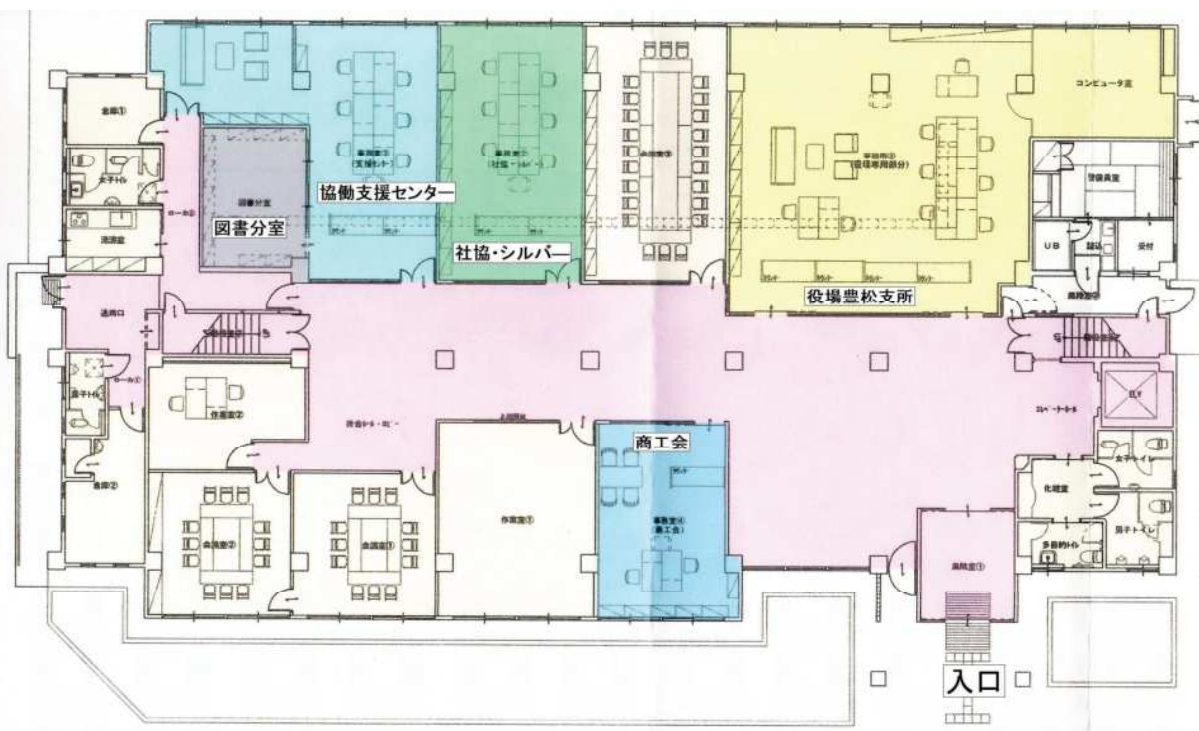
人材センター事務所、商工会、2階には、放課後子ども教室、放課後児童クラブ、診療所の機能を集約して利便性を図ります。

新型コロナ対策予算
補正額2929万円

豊松支所庁舎には、役場豊松支所のほか、集約する機能として、一階には、協働支援センター事務所、NPO法人とよまつむら事務所、図書館分室、社会福祉協議会事務所、シルバー

- ・子育て世帯生活支援特別給付金給付事業554万円
- ・高齢者福祉施設改修費（8施設）523万円
- ・小中学校休校時の遠隔学習支援（インターネット月額使用料補助）512万円

など、新型コロナ対策事業が予算化されました。



豊松支所改修計画平面図（1F）



柏床議員の一般質問

町新型コロナウイルス

対策事業について

問 農業者、農業法人への支援対策は。

答 必要な支援策を検討していきたい。

柏床Ⅱ対策予算で、農業者・農業法人に対しての支援が江田島市では行われている。事業継続・雇用維持・地域経済対策事業について、農業者・農業法人への支援対策は。

町長Ⅱ農業経営に関しての影響について、売上が大幅に減少している商工業や観光業等に比べると比較的に限定的ではないかと考えている。まずは経営に大きな影響を受けている企業や個人経営体への支援を最優先に取り組んできた。

地方創生臨時交付金を活用した農業支援の一つとして、本年2月に農林水産省経営局長より広島県知事に対して、県内市町への臨時交付金を活用した収入保険の保険料補助と加入促進の働きかけの要請が出されたところであり、本年度において県内複数の市町において検討されているように伺っている。

町としては、引き続き、農業法人等への影響や経営状況について情報収集に努めるとともに、他市町の取り組み等も注視しながら、必要な支援策を検討していきたいと考えている。

柏床Ⅱ町として、できるだけの支援はするべきではないか。

産業課長Ⅱ収入保険は、個人11経営体、法人10経営体が加入していると資料をいただいている。全国ではコロナによる影響があり、収入保険で経営が安定したと聞いている。現在、町内の担い手・法人について十分な把握ができていない。他の市町の状況を確認しながら法人、担い手の意見を聞いて判断したい。



機械化された、白ネギの土寄せ作業（小野地区）

支所機能について

柏床Ⅱ油木支所が4月から6名体制から5名体制、1名減。職員が5名から3名へ減員、会計年度任用職員2名体制となり、各支所5名体制となった。支所機能の変更がなければ職員の負担が増加すると思われる。また、現場対応もむずかしく、住民サービスの低下が懸念される。支所機能の変更なしに減員になった経過は。

町長Ⅱ油木支所の職員配置は、本年度、正規職員を5名から3名に、会計年度任用職員を1名から2名とし、5名の体制とした。神石、豊松支所は、既に2年前から再任用職員や会計年度任用職員を含め5名体制で業務を執行している。限られた財源と職員数の中で、山積する地域的課題を解決し、多様化・複雑化する住民ニーズに対処するためには、本庁機能を強化し機動性のある組織体制が求

められている。

本庁はもとより、各支所とも人的余裕はないが、支所長を中心に職員一丸となり業務を進めている。支所機能の見直しは、現在、内部でアイデアを出しながら検討を進めており早期に方向性を出したいと考えている。

柏床Ⅱ職員も減り、会計年度任用職員も職員と同等の勤務となっているが、責任度合いも同等なのか。

総務課長Ⅱ会計年度任用職員2名の内、1名はフルタイム職員で行政経験も有し、役場では2級職員に相当する職員。もう1名のパートタイム職員は定型的、補助的業務。業務内容は窓口対応あたっていただいている。いずれの職員も責任をもつて業務にあたっていただいている。

柏床Ⅱ支所職員の負担が増えるので職員の健康管理に注意いただくとともに、現行のサービスの確保をお願いする。

神石高原町 「スーパーシティ構想」の概要

先端的サービスの概要



全国で31自治体が申請。このうち5自治体が指定される。

神石高原町は、4月16日付で、国に国家戦略特区（スーパーシティ構想）の指定申請を行いました。

〔神石高原町のスーパーシティ構想の基本コンセプト〕

① 中山間地域特有の課題をデジタルを用いて解決し、

「中山間地域の革命」をもたらす。

② 高齢化が進む全国各地に神石高原町の実証実験の成果を波及させ、持続可能な高齢化社会を実現する。

先端的サービスの内容は11項目から構成されている

ます。

この構想については神石高原町のホームページに、PDFファイルで掲載されています。

<http://www.jinsekigun.jp/town/formation/mira/dx/supercity/teiansho/>

【一般質問（つぎ）】

国家戦略特区について

柏床Ⅱ国の指定を受けた場合の今後の構想の取り組み年数は何年間で取り組むのか。また、構想の全体事業費は。

町長Ⅱ今回の構想では、2025年度までの5年間のスケジュールで申請しています。あくまで構想であり、全体事業費は未定である。

柏床Ⅱ指定されない場合の考え方と方向は。

町長Ⅱ指定される、されないにかかわらず、必要と判断する事業は、今後、国や県及び提案頂いた企業とも協議し、事業規模や財源などの詳細を検討して行く。

柏床Ⅱ神石高原テレコムの内容は。

町長Ⅱあくまで構想である事を申し上げたうえで答弁する。

神石高原テレコムは、神石高原町が通信事業者となった上で、住民へ格安の携帯が利用出来るサービスをを行うという構想である。

今回のスーパーシティ構想の基盤であり、あらゆるサービスをこの情報基盤の上で展開するもの。

柏床Ⅱ顔認証端末の配布、スマートフォンの全町民配布の内容は。

町長Ⅱ現時点で想定している顔認証端末の配布は、高齢者に対する遠隔での見守りや緊急時における本人識別、タクシー利用時の本人確認等に利用可能である。

顔認証端末を希望する全住民が持つことで、用途は無限に広がる。通信料などの詳細は今後の検討となる。

柏床Ⅱデータセンターの内容は。

町長Ⅱ今回のスーパーシ

イ構想の中で想定している、あらゆるデータを一元的に管理するためにデータセンターを設置するというアイデアである。

柏床Ⅱ国家戦略特区に指定を受けた場合、計画によるとテレコムは本年度から実証となっているが詳しい説明は。

未来創造課長Ⅱスーパーシティ構想を住民の方々にも説明する機会を持つ。昨日町長が他の議員に、「特区の指定にならなくてもテレコムは前向きに進めたい」と答弁したとおり。規模や内容については精査中。

柏床Ⅱテレコムの内容を簡単にわかりやすく説明できないか。

副町長Ⅱ大手携帯電話会社の電波を安く購入して皆さんに安く提供することを考えている。

この度は、説明が必要な「スーパーシティ構想」の質問もりましたが、一部の記載となっております。

【特集】

油木高校野球部

夏と言えば高校野球。昨今部員不足で悩む高校も多し。いなか、ハンデをはねのけ好成績を残し、一昨年度には21世紀枠広島県推薦校に選出されるなど、神石高原町唯一の高校として、いつも地域に元気を与えてくれています。全25人(マネージャー3名)の部員は、地域に恩返しをしたいと町内の小学生全員に声をかけ野球教室を開催し、初心者を含む約30名の小学生の参加があるなど有意義な成果を残しました。



「野球教室」の様子

「自分たちは地域と共にある。試合にだけ勝てばいいとは考えていない」といい切る主将の後藤君(三和中)。この教えは全て先輩から受け継いだものだといえます。《今年のチームの横顔》

今年は強打のチーム。新チーム以降では31勝27敗6分で、打線は四割打者が四人揃い、特に4番を打つ後藤君の通算22本塁打、植田君(神辺西中)・中西君(駅家南中)がともに2年生ながら6本塁打、しぶとい打撃の宗信君(城南中)など長打が狙える打者が並び、通算70盗塁の土屋君(神辺中)ほか青木原君(三和中)など走れる選手や赤木君(神石高原中)や藤井君(三和中)は守備が安定し貴重な存在です。投手陣は共に2年の左の若林君(三和中)と右の羽場君(神石高原中)が軸で、捕手の渡邊興君(三和中)のリードで強豪校相手でもひるむ

「自分で考え動ける人間に」 指導を行う山中監督



ことなく投げ込みます。渡邊飛君(三和中)も好機での代打に備えます。1年生の川上君、小林君、大本君(全員三和中)も将来の活躍が期待されます。女子マネージャーをまとめる前原さん(三和中)・峰沢さん(城南中)・藤井さん(神石高原中)と共に裏方でしっかり支えています。

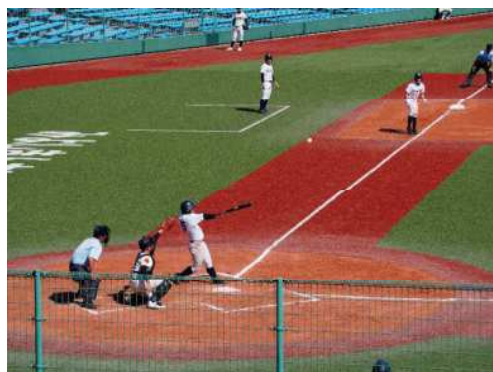
これからも地域に応援されるチームを目指して、積極的に地域への恩返しに取り組んでいきたいそうです。頑張りに益々期待します。(記事提供 後藤様)

全国高校野球選手権

広島県予選 7月13日

油木高校 VS 広島工

1 8



13日は、みんなハツラツと頑張りました。アップシ。

【6月議会を終えて】

今回、4人の議員が国家战略特区(スーパースィティ構想)について質問した。

高齢者の顔認証端末のスマートホンで、高齢者の見守り、健康管理などに活用できるであろうが、そこまで高齢者の方が必要と感じるだろうか。加えて、町が事業者になれば、スマートホンのGPSを入れなくても、大体の位置情報が取得可能であろう。構想では顔認証端末を全住民に配布とある。他の項目も、まだまだ不明確な点が多い。

コロナ禍の中、一人暮らしの高齢者は、地域のサロンも中止、自宅に引きこもりがち。こんな時こそ見守り訪問員の訪問回数を増やし、対面で話をしながらのケアが必要なのではないか。私たちは、人間である。あくまでデジタルは補完でなくてはならない。